

美術は語る 木村泰司の西洋美術史

講師 美術史家 木村 泰司

美術鑑賞をより楽しむために、まずは個人の主観を省き、自分の好き・嫌いで鑑賞することを止めてみましょう。何が美しいのかを学ぶことが出来るのが美術史であり、そしてそれが美術史の楽しさでもあります。それぞれの時代のエッセンスを吸収し、造形化したものが美術です。美術史を通じて美の規範を学び、それぞれの時代背景を知ることによって、建築、絵画、そして彫刻は、様々なことを私たちに語り掛けてくれるようになるのです。(講師記)

※各回テーマは裏面をご覧ください。

2015年10月開講。おおよそ2年かけて全8期を予定しています。
お申し込みは1期(3ヶ月)ごとに承ります。途中受講も可能です。



©高木昭仁

<講師紹介>木村 泰司(きむら たいじ)

1966年生まれ。米国カリフォルニア大学バークレー校で美術史学士号を修めた後、ロンドンサザビーズの美術教養講座にてWORKS OF ART 修了。ロンドンでは、歴史的なアート、インテリア、食器等本物に触れながら学ぶ。知識だけでなく、エスプリを大切に、全国各地での講演会、セミナー、イベントは新しい美術史界のエンターテイナーとして評判をよんでいる。著書に『名画の言い分』(集英社)、『印象派という革命』(集英社)、『おしゃべりな名画』(KKベストセラーズ)、『名画は嘘をつく』(ビジュアルだいわ文庫)、『知識ゼロからの肖像画入門』(幻冬舎)ほか、エッセーの執筆などで活躍中。

日 時 2017年 4/1、5/6、6/3 全3回
土曜日 13:00~14:30

受講料 会員 9,072円 (入会金は5,400円。70歳以上は入会無料、証明書が必要です)

※入会金、受講料、教材費等は消費税8%を含む金額です。

- ※ ご入会の優待制度をご利用の方は、お申し出ください。
- ※ 日程が変更されることがありますので、ご了承ください。
- ※ 講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合などには、講座を中止することがあります。
- ※ 個人情報、受講連絡、当社からのお知らせ、企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター
朝日JTB・交流文化塾

新宿

〒163-0210 東京都新宿区西新宿2-6-1
新宿住友ビル内私書箱22号
tel 03-3344-1945
<https://www.asahiculture.jp/shinjuku>

<各回テーマ>

第7期(2017年4—6月)

19. 永遠のヴェルサイユ：ルイ14世時代
20. 永遠のヴェルサイユ：ルイ15世時代
21. 永遠のヴェルサイユ：ルイ16世時代

<今後の予定>

第8期(2017年7—9月)

22. 19世紀フランス絵画(新古典主義とロマン主義)
23. 18世紀イギリス美術史(スチュワート朝からジョージ王朝へ)
24. 19世紀イギリス美術史(ヴィクトリア朝からエドワード朝へ)

<過去のテーマ>

第1期

1. ギリシャ美術と古典主義
2. エトルリア美術とローマ美術
3. 初期キリスト教美術とロマネスク美術

第2期

4. ゴシック美術と国際ゴシック様式
5. 初期ネーデルラント絵画
6. 北方ルネサンスとフォンテーヌブロー派

第3期(2016年4月—6月)

7. イタリア初期ルネサンス美術
8. イタリア盛期ルネサンス美術
9. ヴェネチア派とマニエリスム

第4期(2016年7—9月)

10. イタリア・バロック美術
11. スペイン・バロック美術
12. フランドル・バロック美術

第5期(2016年10—12月)

13. 17世紀オランダ絵画の黄金時代・前編
14. 17世紀オランダ絵画の黄金時代・後編
15. 18世紀ヨーロッパ美術の行方
(18世紀ヴェネツィア派、ゴヤ、新古典主義)

第6期(2017年1—3月)

16. 17世紀フランス古典主義・前編
17. 17世紀フランス古典主義・後編
18. 18世紀フランス・ロココ美術